

足寄町

# 避難所運営マニュアル

【新型コロナウイルス感染症対策編】

## はじめに

新型コロナウイルスへの感染リスクが伴う状況において、災害が発生し避難所を開設する際には、感染症対策に万全を期することが大切です。

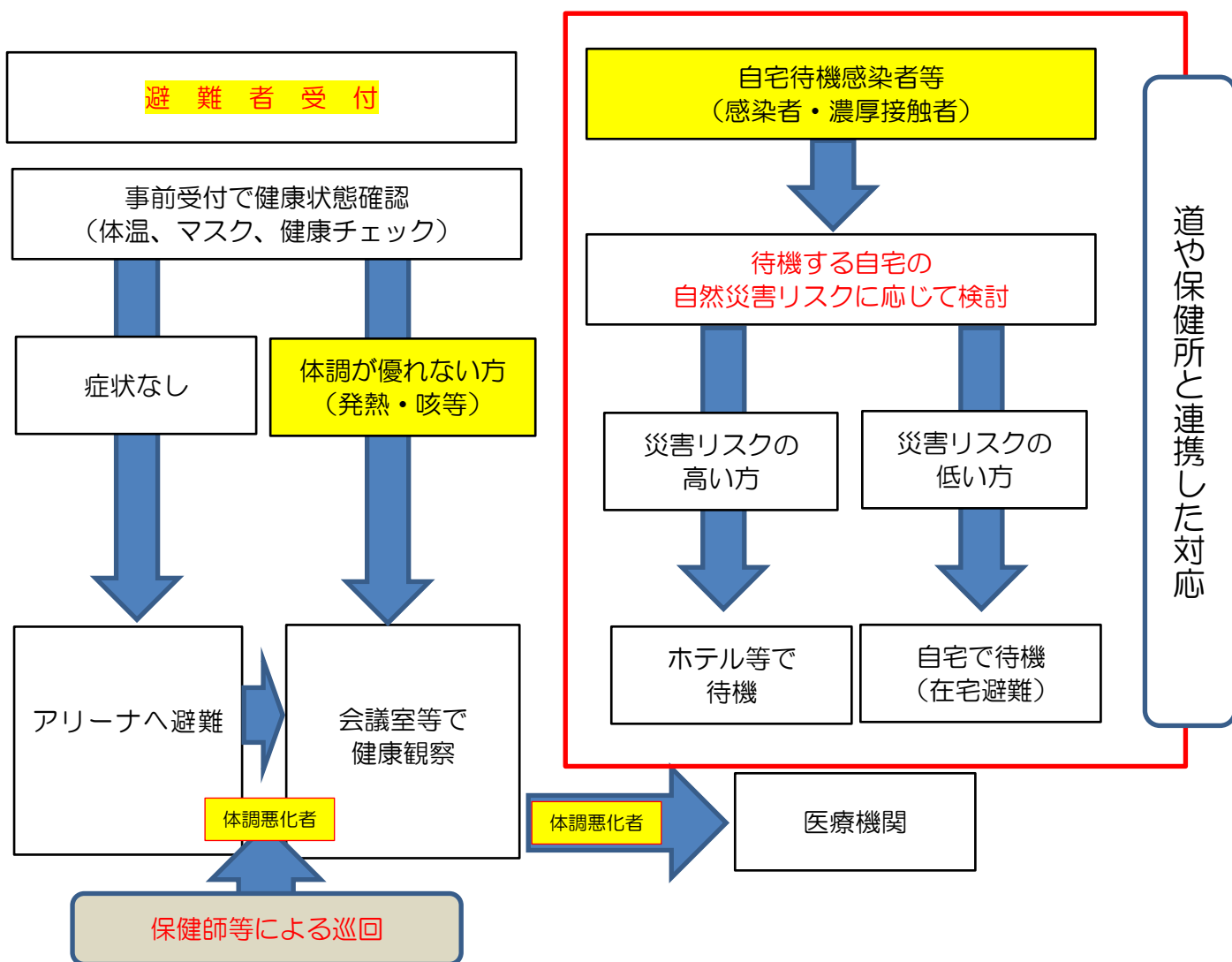
「避難所運営マニュアル【活動編】」に加えてこのマニュアルを参考いただき、避難所での感染症対策の徹底に活用してください。

なお、足寄町では新型コロナウイルス感染症対策中（コロナウイルスの社会的対応が安定化するまでの期間）に災害が発生した場合、以下のフロー図のとおり対応します。

避難者の方や避難所運営に従事される方の避難所での感染予防・感染拡大防止のため、施設管理者や役場職員と連携を図り、避難所の開設・運営にご協力ください。

また、以降に記載する事項は避難所における新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止対策を記載していますが、荒天時における乳児を抱えた家族の避難や持病のある方の避難など状況に応じて、命を優先した柔軟な対応をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対応フロー図（総合体育館の例）



# 目次

第1章 避難所の開設・運営.....	1
1 平時における準備.....	2
2 避難所の開設.....	3
3 避難所の運営.....	5
4 避難所運営従事者の体調管理.....	6
第2章 参考資料.....	7
1 【資料①】 受付レイアウト（例）	
2 【資料②】 受付チェックシート	
3 【資料③】 健康チェック表（日常用）	
4 【資料④】 新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。	

# 第1章 避難所の開設・運営

■災害が発生し、避難の必要がある場合の「新型コロナウイルス感染症対策」について必要な事項について記載しています。

# 1 平時における準備

## ✚ 避難所対応時の準備物

コロナウイルス感染症予防には、以下の物品が必要となります。

平時より可能な限り準備し、自分自身の感染予防のため、開設時に持参するようにお願いします。

### 【準備物の例】

- |                              |                                |                                   |                                  |
|------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> 体温計   | <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 | <input type="checkbox"/> ペーパータオル |
| <input type="checkbox"/> ゴミ袋 | <input type="checkbox"/> 除菌シート |                                   |                                  |

## ✚ 避難エリアの検討

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、避難者の避難エリアを区分することが必要となります。

### 体調が優れない避難者

- 隔離の必要がある避難者のエリア（空き部屋等）をあらかじめ検討する。
- 定期的な換気のため、窓が1カ所以上ある場所が望ましい。
- 体調の優れない避難者と他の避難者の動線は可能な限り重ならないようにし、専用のトイレ等を確保する。

### その他の避難者

- 避難者同士が密になることを避けるため、広いエリアを確保することが望ましい。
- 妊産婦等の感染リスクを減らすため、該当者の避難エリアをあらかじめ検討する。
- やむを得ず同室にする場合は、仕切り等を活用して、他の人との距離を保つ。

## 2 避難所の開設

### 服装

避難者を受け入れる際は、以下のものを着用し、感染予防を行います。

#### 【必要な衛生用品】

- マスク
- ビニール手袋（使い捨て）
- フェイスシールド
- 医療用ガウン（カッパ等での代用可）

### 避難者受入れ準備

避難所を開設することとなった場合、次の事項を参考に各避難所エリアのレイアウトの検討を行います。

#### 【ポイント】

- 1人あたり約4㎡（2m×2m）のスペースを確保する。※
- 一方通行等、避難者同士の動線をあまり交差しないように設定する。
- 定期的に換気ができるように、ドアなどの前に物を置かないようにする。

#### ※ 1人当たりのスペースの確保について

世帯の人数により妥当なスペースを保つ。

例えば、4人1世帯で避難した場合は、必ずしも4㎡×4人分のスペースを確保する必要はありません。世帯を1つの単位として、世帯間の距離を2m確保してください。

### 受付

#### 【1 体温測定】

- ① 避難者がマスクをしているか確認し、していない場合は1枚渡す。
- ② 非接触型体温計で測定する。
- ③ アルコール消毒液で避難者の手指を消毒してもらう。
- ④ 体温測定の結果を受付チェックシートに記入し、避難者に渡す。

※ 【資料②】：受付チェックシート

## 【2 受付チェックシートの記入と避難エリアへの振り分け】

避難所で感染者が発生した場合に速やかに連絡がとれるように、受付チェックシートを作成する。

- ① 体温以外の項目を聞き取りによりチェックする。
- ② 内容を確認し、振り分け判断表に基づき振り分ける。
- ③ 受付チェックシートに振り分けたエリアを記入する。
- ④ エリアごとに分けて保管する。

判断基準 (受付チェックシート表の項目)	対応
1～3でいずれかにチェックがついた人	<ul style="list-style-type: none"><li>・保健所へ速やかに連絡</li><li>・専用スペースを確保し、一時的に待機してもらう。</li></ul>
4～9で1つでもチェックがついた人または症状がある人の家族など	<ul style="list-style-type: none"><li>・体調が優れない方の避難スペースへの案内</li></ul>
チェックなし	一般の避難スペースへの案内

## 【4 自宅待機感染者等が避難してきた場合】

避難が必要な自宅待機感染者等（自宅で療養している陽性者又は自宅待機中の濃厚接触者）については、事前に宿泊療養施設等へ避難するよう調整します。

ただし、万が一避難してきた場合は、町職員が保健所に連絡するとともに、宿泊療養施設等への搬送の準備が整うまで専用の待機エリアを確保し、一時的に待機してもらいます。

### 3 避難所の運営

#### 衛生管理の徹底・距離の確保

感染予防には避難所の衛生管理の徹底と距離の確保が大切です。

手洗いや消毒、咳エチケットの徹底
<ul style="list-style-type: none"><li>・チラシ等を避難所内に掲示し、避難者への手洗いや消毒等を徹底してもらう。</li><li>・避難所運営に携わる人もこまめな手洗いや消毒、咳エチケットを徹底する。</li></ul>
定期的な換気、掃除の実施
<ul style="list-style-type: none"><li>・30分に1回程度、避難エリアを換気する。</li><li>・定期的に掃除（消毒）を行う。【掃除のポイントは下記参照】</li></ul>
ソーシャルディスタンス（社会的距離）の確保
<ul style="list-style-type: none"><li>・生活エリアは避難者1人あたり4㎡を確保します。</li><li>・通路等、その他のエリアについては、間隔を2m程度確保します。</li></ul>
避難スペースの表示
<ul style="list-style-type: none"><li>・体調が優れない避難者のエリアには、その他の避難者が近づかないようにテープや看板等を利用し、避難エリアを表示する。</li></ul>

#### 【掃除のポイント】

- 掃除は、0.05%次亜塩素酸ナトリウム液による拭き掃除を基本とする。
- 掃除の前後には、必ず手洗い・アルコール消毒をする。
- 居住スペースは、1日1回、0.05%次亜塩素酸ナトリウム液に浸したペーパータオルで拭き掃除をする。
- ドアノブや手すり等の共用部分は2時間に1回程度0.05%次亜塩素酸ナトリウム液で拭く。
- トイレはできるだけ頻繁に掃除をする。
- 吐物や便を処理するときは、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを使用する。

#### 【次亜塩素酸ナトリウム液について】

- 0.05%次亜塩素酸ナトリウム液の作り方  
500mlの水にペットボトルのキャップ1杯分の次亜塩素酸ナトリウムを入れる。
- 0.1%次亜塩素酸ナトリウム液の作り方  
500mlの水にペットボトルのキャップ2杯分の次亜塩素酸ナトリウムを入れる。



## 4 避難所運営従事者の体調管理

### 避難所運営従事前

---

避難所の運営作業に従事する前には必ず検温し、体調が悪い場合は避難所担当職員へその旨を伝え、避難所の運営に携わらないようにします。

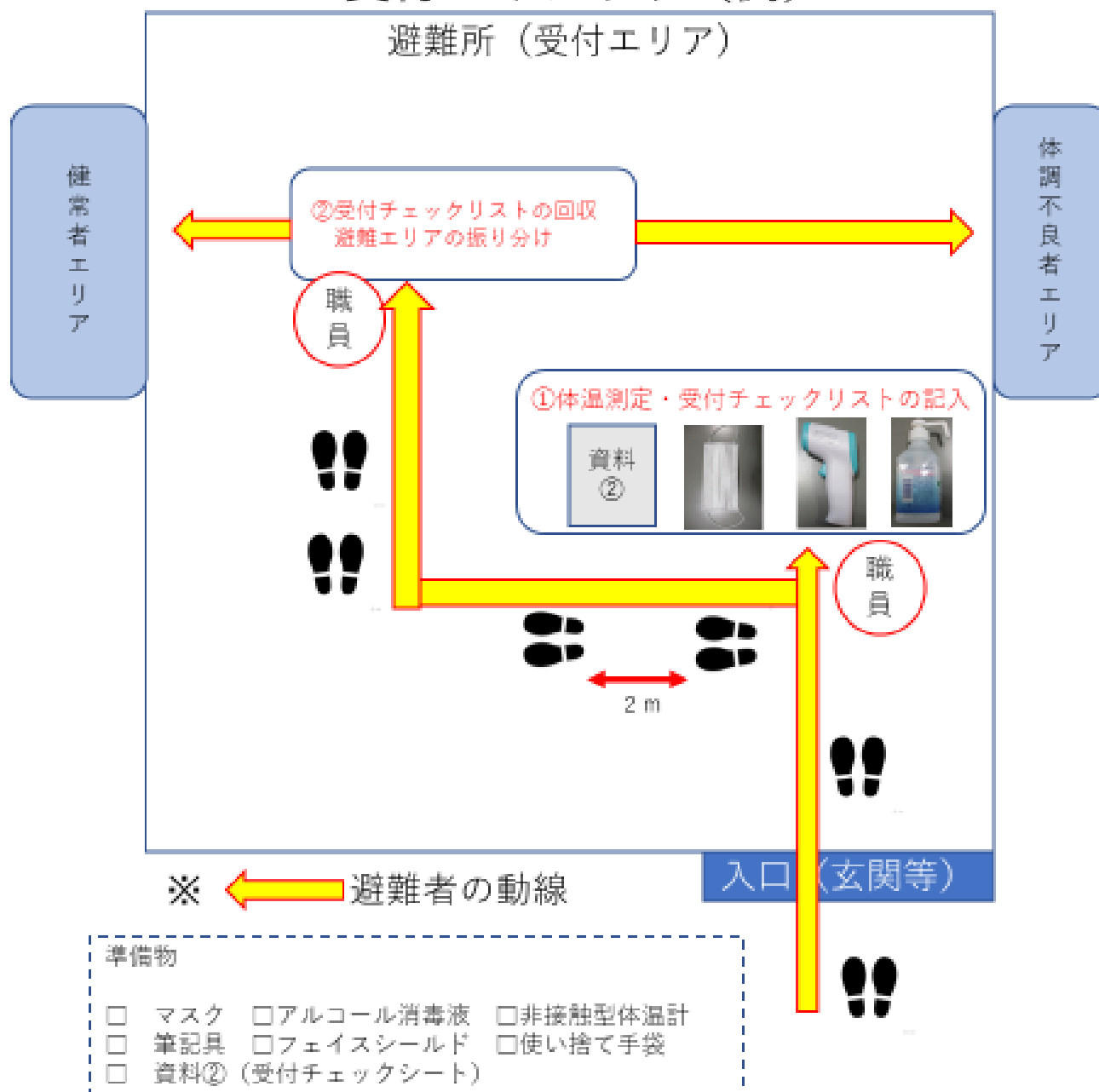
### 避難所運営従事中

---

定期的に検温を実施し、途中で体調が悪くなった際は速やかに避難所担当職員へその旨を伝え、避難者等とは直接関わらないようにします。

## 第2章 參考資料

## 受付レイアウト (例)



## ① 体温測定・受付チェックシートの記入

- (1) マスクを着用しているか確認し、していない場合は着用してもらう。
- (2) 非接触型体温計で避難者の体温を測定
- (3) 【資料②】受付チェックシートの記入
- (4) 記入した受付チェックシートを避難者に渡す。

## ② 受付チェックリストの回収・避難エリアの振り分け

- (1) 記入された受付チェックシートを確認・回収
- (2) 【資料③】 【資料④】を渡し、事前に決められた各エリアに案内する。

## 受付チェックシート

記入日： 年 月 日

住所：

氏名： 年齢： 才 連絡先：

以下の質問の該当する項目の□にチェックをしてください。

1	現在、新型コロナウイルス感染症の感染が確認されていて自宅療養中ですか？	<input type="checkbox"/>
2	現在、新型コロナウイルス感染症の感染が確認されている人の濃厚接触者または保健所による健康観察中ですか？	<input type="checkbox"/>
3	過去14日以内に、海外から帰国又は入国しましたか？	<input type="checkbox"/>
4	高熱（37.5℃以上）が現在ありますか？	<input type="checkbox"/>
5	高熱（37.5℃以上）が3日以内にありましたか？	<input type="checkbox"/>
6	強いだるさがありますか？	<input type="checkbox"/>
7	息苦しさ、咳や痰はありますか？	<input type="checkbox"/>
8	においや味を感じにくいですか？	<input type="checkbox"/>
9	その他、感染したかもしれないと心配になる症状はありますか？	<input type="checkbox"/>

## 体温測定結果及びエリア指定

体温	℃	避難エリア	

※ 個人情報については、避難所での新型コロナウイルス感染症対策以外には使用しません。この情報が不要となった時点で、適切に処理いたします。

## 健康チェック表（日常用）

- 毎日体温を測り、体調を記録しましょう。

月／日（時間）	体温	体調の変化	症状があれば 詳細を記入
	℃	有／無	
	℃	有／無	
	℃	有／無	
	℃	有／無	
	℃	有／無	
	℃	有／無	
	℃	有／無	

※ 発熱や体調の変化やその他症状がある場合は、スタッフに申し出てください。

新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

- ・ 避難所では原則マスクを着用してください。
- ・ 他の人とは一定の間隔（約2 m）を保ちましょう。
- ・ 食事の前やトイレの前後、共有部分に触れたとき等は手洗いや消毒を心がけましょう。
- ・ 30分に1回10分程度の換気をしましょう。
- ・ 定期的に掃除をしましょう。
- ・ 体調が悪い場合はスタッフに申し出て下さい。
- ・ ルールを守り避難者同士協力し合いましょう。